

### 香川大学生へ

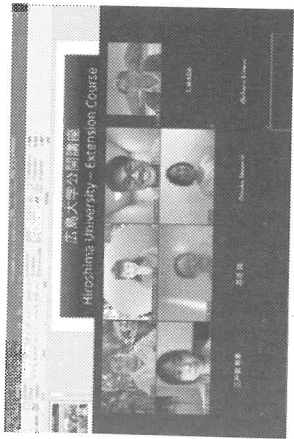
#### 香川県警本部長が講義実施

香川大学と香川県警察本部は、令和2年3月10日、包括的連携・協力に関する協定を締結し「安全・安心な地域社会の実現」を達成するための様々な取組みを実施している。その一つとして、那須修香川県警本部長による講義が、幸町キャンパスと創造工学部で4月

トであった。講義では、交通事故防止に向けて、「3Eの原則」(法の執行(Enforcement)、教育(Education)、交通管理・交通工学的手法(Engineering))に基づき各種の施策が行われていることが示された。さらに、交通犯罪の特徴は大量に発生することであり、大量の交通事故・交通事件に対しては効率的な捜査がなされることが必要であること、他方、悪質・危険運転者に対しては厳罰化に向けての立法措置がとられていること等が説明

### 広島大学公開講座

#### 「グローバル社会・大学・地域を結ぶ」



HUSA留学生・大学院生が参加

広島大学公開講座「グローバル社会・大学・地域を結ぶ(異文化との接触に備えて)」(英語・日本語で開講)「(担当:恒松直美准教授)」が6月16・23日に開講され、広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)留学生と「異文化間理解の社会理論と実践」(大学院人間社会科学研究所)を受講している大学院生が参加した。

HUSAプログラムからは、イギリスのカーティフ大学から広島大学に留学しているジ

ヤック・バリーさんと、アメリカ在住でUSAからの留学生マデリン・ハンゼルマンさんが参加した。

コロナ禍での異文化体験や異文化間での礼儀の相違に関する見解など、留学生の貴重な体験を参加者と共有することができた。オンラインの公開講座には様々な異文化体験を持つ人々が全国から参加した。留学生が日本留学を通じて感じていることなど生の声を聞きつつ、異文化間コミュニケーション・カルチャーセッションについて相互の体験を共有し共に考える場となった。



(上段)右から2番目西尾学長、他、修了者の森井さん、藤原さん、安延副学長、左から、田村理事、杉浦さん、田目等

(下段)右から3番目西尾学長、他、修了者の森井さん、藤原さん、安延副学長、左から、田村理事、杉浦さん、田目等

### 鳥取大 TOUGHプログラム

#### 基礎力養成コース認定証授与式

鳥取大学グローバル人材育成教育プログラム(TOUGHプログラム)の基礎力養成コースを修了した4名の学生に6月14日、認定証の授与が行われた。

TOUGHプログラムは、平成24年度に文部科学省に採択された「経済社会の発展をけん引するグローバル人材育成支援」により平成28年度に同大が構築したプログラムだ。令和2年度から修了要件を変更した新制度で運用しており、グローバル教育基礎科目群の中から12単位以上修得の上、対象科目のGPA2.5以上、「グローバル活動ポイント(国際交流、外国語習得等に関する活動)」8ポイント以上、TOEICスコア600点以上

認定者が新要件で初めての修了者となり、新旧要件合わせて9名が修了となった。

授与式では田村理事から認定証と記念品が渡され、お祝いの言葉と「グローバル力とは、3割を勉学で、7割を体験で培われる力であると教育専門家が話していました。引き続き積極的に多くの経験を積んで下さい」とコメントがあった。次に、安延副学長より「引き続きグローバル強化コースでグローバル人材として必要な能力を身につけて下さい」と激励の言葉が送られた。

修了者の1人、藤原ふゆさん(農学部2年生)は、「オンライン英語研修等、国内にいても国際交流はできることが分かった。今後も努力していきたい」と抱負を述べた。

### 山口大学

#### ジュニアリサーチセッション

山口大学は3月20日、吉田キャンパス内で「令和2年度山口大学ジュニアリサーチセッション(中高生研究発表会)」を開催した。

同セッションは、中高校生の個人・グループが、各学校のクラブ活動等で進めている研究活動の成果を発表し、情報共有することにより、探究活動への興味推進を図るもの。

今年度は、会場を分散する等の新型コロナウイルス感染拡大防止措置を施しながらの開催となったが、山口県内から8校、福岡県1校、鳥根県2校の計11高校から85組がエントリーし、約250名の参加があった。午前は予備審査を突破した9テーマの総合発表が行われ、壇上の演者は、研究の着意・結果・今後の展開等を真剣な面持ちで聴衆に向かって発表した。午後からは、6つの会場に分かれ、計76テーマの一般発表が行われた。